



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 丸栄
コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 京極 修二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	16,693	△7.9	△42	—	△135	—	△320	—
26年2月期第3四半期	18,135	△4.9	214	93.7	120	—	△30	—

(注)包括利益 27年2月期第3四半期 △312百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△2.47	—
26年2月期第3四半期	△0.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27年2月期第3四半期	45,946		20,080		43.7	
26年2月期	45,814		20,394		44.5	

(参考)自己資本 27年2月期第3四半期 20,080百万円 26年2月期 20,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	△4.4	180	△66.3	30	△92.0	△100	—	△0.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	130,368,887 株	26年2月期	130,368,887 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	521,420 株	26年2月期	512,951 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	129,851,853 株	26年2月期3Q	129,872,901 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の想定以上の長期化に加え、天候不順や急速な円安による輸入価格の上昇などにより、個人消費には落ち込みが見られ、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした環境下において、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、インバウンドの活況にある大都市店舗は比較的堅調に推移した一方、地方店舗は減少幅を広げている状況であり、商品別に見ても一部の商品群は堅調なもの、主力の衣料品をはじめ全体的には動きが不安定であり、消費税率の引き上げの影響の長期化と、節約志向の継続等により、取り巻く環境は引続き厳しい状況となっております。

こうした中、当社は業績の向上と経営の効率化に向けて、引き続き売場体制の整備と販促イベントの充実をはじめとする営業諸施策を推し進めてまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、166億9千3百万円（前年同期比92.1%）となり、利益面につきましても、営業損失4千2百万円（前年同期は営業利益2億1千4百万円）、経常損失1億3千5百万円（前年同期は経常利益1億2千万円）と大変厳しい結果となりました。特別損失として固定資産除却損など1億7千9百万円を計上いたしました結果、3億2千万円の四半期純損失（前年同期は3千万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、引き続き新ショップの導入による売場の鮮度の維持及び活性化に努めるとともに、増加する滞在型サービスのニーズに対応するべく、美容と健康をサポートするリラクゼーションサロンを導入するなど、積極的に売場体制の整備に取り組んでまいりました。また盛り上がりを見せる「ハロウィンカーニバル」をはじめ、販促イベントの充実を図るなど、集客力の強化による売上高の向上にも努めてまいりました。

しかしながら、主力の衣料品の不振などにより、百貨店業の売上高は146億2千8百万円（前年同期比90.8%）となりました。利益面につきましても、営業損失1億7千8百万円（前年同期は営業利益7千1百万円）となりました。

②不動産賃貸業

不動産賃貸業におきましては、空室率の低減に取り組み、売上高は12億8千万円（前年同期比100.3%）となりましたが、営業利益については4億7百万円（前年同期比95.9%）となりました。

③その他

その他におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は7億8千4百万円（前年同期比104.1%）となりましたが、営業損失2千7百万円（前年同期は営業損失1千7百万円）という結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億3千2百万円増加し、459億4千6百万円となりました。これは流動資産が6億1千6百万円増加し、一方、固定資産が4億7千9百万円減少したことなどによります。流動資産の増加については、現金及び預金が1億4千万円増加し、また、受取手形及び売掛金が3億9千4百万円増加したことなどによります。固定資産の減少については、減価償却等により有形固定資産が4億5千5百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億4千5百万円増加し、258億6千5百万円となりました。これは流動負債が6億9百万円増加し、一方、固定負債が1億6千3百万円減少したことによります。流動負債の増加については、支払手形及び買掛金が1億9千8百万円増加し、また、1年内返済予定の長期借入金が3億9千9百万円増加したことなどによります。固定負債の減少については、社債が1億2千万円減少したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億1千3百万円減少し、200億8千万円となりました。これは四半期純損失3億2千万円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、平成26年10月3日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,233	1,374
受取手形及び売掛金	432	827
商品	398	369
その他	602	713
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	2,660	3,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,244	7,808
土地	30,433	30,433
その他(純額)	276	257
有形固定資産合計	38,954	38,499
無形固定資産		
のれん	1,258	1,196
その他	82	81
無形固定資産合計	1,340	1,278
投資その他の資産		
投資有価証券	2,486	2,536
その他	356	345
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,842	2,881
固定資産合計	43,138	42,659
繰延資産	15	10
資産合計	45,814	45,946
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,600	1,798
短期借入金	1,800	1,700
1年内返済予定の長期借入金	3,516	3,915
1年内償還予定の社債	340	210
未使用商品券等引当金	281	262
その他の引当金	43	71
その他	2,534	2,766
流動負債合計	10,116	10,725
固定負債		
社債	375	255
長期借入金	7,542	7,526
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
退職給付引当金	327	340
その他	3,059	3,020
固定負債合計	15,304	15,140
負債合計	25,420	25,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	936	616
自己株式	△113	△114
株主資本合計	13,051	12,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	22
土地再評価差額金	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計	7,343	7,351
純資産合計	20,394	20,080
負債純資産合計	45,814	45,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	18,135	16,693
売上原価	14,401	13,196
売上総利益	3,733	3,497
販売費及び一般管理費	3,519	3,539
営業利益又は営業損失(△)	214	△42
営業外収益		
受取利息	3	2
持分法による投資利益	43	42
売場改装協力金	101	52
その他	24	31
営業外収益合計	172	129
営業外費用		
支払利息	177	159
その他	89	62
営業外費用合計	266	222
経常利益又は経常損失(△)	120	△135
特別損失		
固定資産除却損	143	177
その他	-	1
特別損失合計	143	179
税金等調整前四半期純損失(△)	△23	△314
法人税等	7	5
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△30	△320
四半期純損失(△)	△30	△320

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△30	△320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	6	8
四半期包括利益	△24	△312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24	△312
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,105	1,276	17,381	753	18,135	—	18,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	109	112	525	638	△638	—
計	16,108	1,385	17,494	1,278	18,773	△638	18,135
セグメント利益又は損失(△)	71	425	497	△17	480	△265	214

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△265百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△269百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,628	1,280	15,909	784	16,693	—	16,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	107	116	448	565	△565	—
計	14,637	1,388	16,025	1,233	17,258	△565	16,693
セグメント利益又は損失(△)	△178	407	229	△27	202	△244	△42

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△244百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△249百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。